



小学校の校舎で写真展、トークショー&LIVEを開催

10年間撮り続けた写真とアーティストからのメッセージ 石井麻木写真展【3.11からの手紙/音の声】

東日本大震災から10年を迎えました。多くのメディアでは3月11日に合わせて特集や特番を組んでいます。しかし、長く被災地に寄り添うためにできることはないのだろうかとの思いからこの企画を立案しました。

思いと記憶を風化させないために、東京新聞では福島民報社との共催で石井麻木写真展【3.11からの手紙/音の声】を開催しました。東京都内では3月1日からの29日間、福島県内では3月6日からの26日間の開催。福島民報が主催する音楽イベント「風とロック」の公式カメラマンで被災地を撮り続ける石井麻木さんと協力し、石井さんの写真とともに賛同してくれた40組のアーティストのメッセージと想いをのせました。

メイン会場は旧杉並区立杉並第四小学校の校舎。企画趣旨に賛同した杉並区が提供してくれました。来場者の多くは久しぶりに小学校に足を踏み入れることを楽しみ、会場に展示された写真から伝わる息づかいに想いを巡らせ涙ぐんでいました。

3月20日にはメイン会場の小学校の体育館で石井麻木さんのトークショーとストレイテナーのヴォーカル ホリエアツシさんの弾き語りLIVEを開催。写真と音とアーティスト、それぞれの表現方法で一つの場所で思いを集結させるイベントとなりました。



▲2021年3月17日
東京新聞朝刊15段



都営地下鉄全106駅で
駅貼りポスターと
全線で中刷りを掲出

2021年3月6日
東京新聞朝刊30段



杉並区広報
巻頭3頁特集

東京会場
来場者数
4,612人



▲石井麻木さんの写真と賛同した40組の
アーティストのメッセージを展示



▲石井麻木さんトークショーと
ホリエアツシさん弾き語り



石井麻木写真展
【3.11からの手紙/音の声】
期間：3月1日～3月28日※入場無料
東京会場：旧杉並区立杉並第四小学校、
恵比寿LIQUIDROOM
主催：東京新聞、福島民報社
共催：杉並区
協力：石井麻木、風とロック、福島交通他